大阪グローバルロータリークラブ

本年度第 7 回 通算 31 回例会 会報 ｜ 2026 年 10 月 6 日

卓話　ロータリー財団グローバル補助金　―　宮里氏



卓話の概要

宮里氏より、ロータリー財団グローバル補助金の仕組み・申請要件・資金調達・承認のポイントについて、具体例を交えて説明がありました。

グローバル補助金は「目的」ではなく、大規模な国際奉仕を実現するための手段。地区補助金や DDF、ワールドファンドを組み合わせることで、クラブの拠出を大きな事業予算につなげられます。

モンゴル医療支援、ラオス事業、パキスタンでのポリオ投与など、今後の国際奉仕につながる重要な示唆が共有されました。

卓話の 4 つのポイント

01 補助金の概要	02 主要要件	03 資金調達	04 承認のポイント
グローバル補助金は手段。少ない現金拠出で大規模な事業予算を確保できる。	総額 3 万ドル以上。7 つの重点分野、実施国・援助国双方の RC、オンライン申請が必要。	2,000 ドル拠出＋DDF 最大 2 万ドル＋WF80%で約 3 万 8,000 ドル規模に。	継続性が最重要。現地調達、研修、領収書・エビデンス、現地 RC との連携が鍵。

グローバル補助金　申請に必須の 4 要素

① すべての見積もり	② 協力団体との覚書	③ 研修計画	④ 現地ニーズの根拠

主な今後の予定

本日中	スポゴミの申請提出・入金手続き
10 月 29 日～	第 2660 地区 パキスタン・ポリオ投与
2 月 7 日～13 日	ラオス事業（住血吸虫薬・ポリオワクチン投与）
5 月頃	モンゴル医療支援プロジェクト視察（メンバー募集予定）

Rotary Club of Osaka Global
WHEREVER THEY ARE, WE'RE THERE.

Rotary Club of Osaka Global

例会・理事会議事録（要旨）

1　開会・会長報告

- 名古屋南 RC 木戸陽介氏が来訪。ラオスのグローバル補助金事業について情報交換。現地クラブが少なく難航しており、地区補助金等で進める方向とのこと。
- モンゴル医療支援：グローバル補助金で進める方針を確認。森山国際奉仕委員長が主導し、5 月頃の視察を予定。
- ラオス事業：2 月上旬、以前訪問した小学校で住血吸虫薬・ポリオワクチン投与を実施する方向で調整。
- パキスタン・ポリオ投与：2660 地区は 2027 年 1 月 23 日出発予定。2650 地区からは 2026 年 10 月 29 日出発予定。いずれも参加者募集中

2　幹事報告（吉田幹事）

- スポゴミ：参加 石原氏・岡藤氏・本橋氏。個人協賛 浦島氏・宮里氏・山本氏・吉田幹事。河口氏はマフラータオル申込み。
- ロータリー研究会：本橋氏・吉田幹事が参加予定。希望者は出欠票を提出。
- バルセロナ国際大会：宮里氏が参加予定。参加希望者は早期登録を検討。
- マイロータリー：RI 届出メールと登録アドレスの不一致で「未登録」と表示される問題を確認。次回整理。

3　委員会報告

職業奉仕①	9 月 26 日、肥後橋 PIANO PIANO で参加者向けランチを 13 時 30 分から予定。
職業奉仕②	9 月 26 日 11 時、大阪デザインウィークに参加。追加募集を行う。
社会奉仕	子ども食堂訪問を 10 月 1 日・8 日で調整。15 時 30 分～18 時 30 分、短時間参加も可。
ニコニコ	名古屋南 RC 木戸陽介氏より受領。当クラブ会員分は次週報告。

4　理事会：モンゴルプロジェクト審議・承認

- がんの早期発見機器と教育プログラムを組み合わせ、モンゴル全土への普及モデルを構築する計画。
- 当クラブ単独では資金不足のため他クラブとの共同提唱が必要。宮里氏が声がけに協力。
- グローバル補助金を活用した奉仕活動の推進を、出席者の挙手により満場一致で承認。

5　アクション項目

● スポゴミ申請・入金	● 研究会の出欠集計・申込み	● 国際大会参加者を河口氏へ連絡
● マイロータリー問題を次回整理	● 子ども食堂の投票	● 大阪デザインウィーク参加募集
● モンゴル側へ実施意向伝達・他クラブへ協力依頼	● ラオス事業の日程確定・打合せ	● パキスタン投与の参加希望確認

出席状況・公式 SNS

出席状況

対象日	9 月 15 日
会員数	25 名
出席義務者数	25 名
欠席者数	9 名
出席者数	16 名
出席率	64%

公式 SNS

Instagram　Facebook　ホームページ



Rotary Club of Osaka Global